

戊辰の役 六烈士殉職百五十年

慰靈碑建立顕彰事業

奉賛趣意書

趣意書

私ども都城島津を温たすねる会は、平成十五年十月一日発足以来、島津家二十八代故島津久厚様のお力添えを戴き、兼喜神社祭典への参加や会員との交流を図りながら、都城島津家創始から今に至るまでの変遷を学び、まさに温故知新の活動を重ねてきました。その歴史の中で、近代日本の基盤となった明治維新という大変革に、薩摩の島津藩が大きな力を発揮したことは人の知るところです。本藩に従い都城島津家も島津私領一番隊として出兵しました。彼らは鳥羽伏見に或いは東北の地に一身を捨てて戦い、そして多くの若者が倒れていきました。所謂いわゆる戊辰の役です。その戦いの中に十七歳から二十三歳の六人の隊士が、戦いの刃を交える事無く割腹という道を選ばざるを得なかった事件がありました。これまでも先々代久家さま先代久厚さまが戊辰の役に殉じられた方々を始め彼ら六隊士の慰霊にも努められて来られました。私どもはここ都城の歴史の中に埋もれさせる事は出来ない史実であるとの想いと、先々代、先代のお志に添いたいと考えて、帰郷かなわす京都の地に鎮まります彼らの里帰りが出来ないものかと思案しました。折りしも平成二十九年十二月二十七日は、六隊士殉職から百五十年を数えます。これを期に都城島津家歴代領主の墓地近くに慰霊碑を建て御分霊を持ち帰り顕彰する事を執り進めることにしました。けれども事業推進には多額の費用を要します。皆様の温かいご支援ご協力をお願いする次第です。どうぞお力添えをお願いします。

都城島津私領一番隊(一二二名)

六烈士

坂元 与八郎
横山 藤助

野辺 納右衛門
安藤 惣兵衛

大峰 壮之助
内藤 将左衛門

主宰 北郷 伴兵衛
小隊長 御軍役方兼 龍岡 左八郎
半隊長 石坂 十郎次
分隊長 志々目 弥東次
小頭 大草 善助
小頭教導 肥田 雄太郎
同 大河原 仲兵衛
同 土持 直五郎
同 大峰 勘十郎
同 旗手、御軍役方書記兼 高松 莊兵衛
戰兵 深川 幸蔵
鈴木 千太夫
武田 四郎
蒲生 連左衛門
財部 与八郎
松永 壯四郎
長友 壯四郎
瀬尾 助五郎
津曲 清八郎

今井 甚左衛門
戸高 清八郎
永井 嘉十郎
福留 嘉右衛門
豊丸 与藤次
高橋 壮之進
種子田 半五
藤井 弥兵衛
松下 金蔵
松部 左十郎
財部 要八郎
左山 小之函
篠原 諸右衛門
佐渡 平兵衛
三浦 弥平太
松下 藤吉
肥田 孝右衛門
江口 熊五郎
尾崎 勘四郎
田実 源兵衛
瀬戸山 伝兵衛
植村 右衛門
坂元 新五郎
福留 郷兵衛
持永 郷兵衛

坂元 助兵衛
福山 嘉吉
向井 祐四郎
原田 祐太郎
江口 十兵衛
岸良 壮兵衛
新徳 嘉藤太
清水 彦太郎
渡辺 新藤五
蒲生 直太郎
柳橋 嘉右衛門
長瀬 彦十郎
安田 平内
大河原 柳助
池袋 源左衛門
重久 勘五兵衛
山下 孝助
飛松 善十郎
長峰 隆助
松田 左一郎
音堅 一郎兵衛
曾我 東之助
東藤 太右衛門
武田 源右衛門
主宰書記兼

醫師兼 野辺 玄順
醫師兼 永井 実春
蒲生 清四郎
丹山 左一郎
乙守 平左衛門
今井 仲左衛門
松葉 佐丈七
大浦 矢九郎
久保 少作
津田 幸右衛門
肥田 軍右衛門
蔭山 万十郎
津田 甚五
志和 池惠助
浜田 才之函
前田 泰助
大坂 藤右衛門
大藤 泰助
大田 泰助
有田 泰仲
財津 左一郎
大館 尚庵
醫師

小荷駄友、四役場 堤 佐次兵衛
同 佐藤 半太左衛門
書役兼 遠見 弥東次
同 松山 四郎
主宰隨從書記 財部 雄右衛門
小荷駄方夫卒差引 安樂 嘉太郎
本町人 南崎 常右衛門
同 大峯 益二
三重町人 野口 与三
從卒 榎山 仲左衛門
榎山 榎田 直八
川東福留門 西善 左衛門
高木西森門 西森 良八
平江町之 江夏 善吉
志々目弥東次下人 原村 内助
役卒 杉村 善吉

同 冬野 亀五郎
龍岡左八郎下人 森 一
石垣十郎次下人 押川 小太郎
肥田雄太郎下人 森 小八
北郷伴兵衛被官 熊次郎
醫師藥籠持夫、本町人 有川 次郎助
玉藥箱持夫 梅北本女橋門 森宗 右衛門
志和池吉行門 吉行 五左衛門
本町人 森 九助
山田岡門 村岡 納四郎
安久本村門 榎田 直八
川東福留門 西善 左衛門
高木西森門 西森 良八
平江町之 江夏 善吉
志々目弥東次下人 原村 内助

戊辰の役 六烈士殉職百五十年

慰霊碑建立顕彰事業

目標総額 三百万円

奉賛金について

事業所・法人は三万円以上

個人 五千元以上

お振り込み、若しくは

お知らせ頂ければお伺いします。

- ・ゆうちょ銀行総合口座
17360-15902661
都城島津を温める会
- ・他金融機関からの御振込の場合
店名 七三八
店番 738
普通預金口座 1590266
- ・問い合わせ先
旭丘神社 内
☎0986-25-7150

平成二十七年二月二十八日

都城島津を温める会

| | | | | | | | | | | | | | | |
|----|----|----|----|-----|----|----|----|----|----|-----|----|-----|-------|-----|
| 役員 | 役員 | 役員 | 役員 | 相談役 | 監査 | 監査 | 顧問 | 顧問 | 会計 | 事務局 | 総務 | 副会長 | 事業本部長 | 会長 |
| 東郷 | 牛鼻 | 小野 | 大石 | 曾我 | 桐野 | 谷口 | 山下 | 田代 | 杉 | 福山 | 土持 | 中山 | 平井 | 中村 |
| 貞法 | 浩志 | 孝一 | 宏夫 | 恒夫 | 晃一 | 純忠 | 真一 | 義博 | 安雄 | 康彦 | 吉之 | 雅和 | 泉 | 健太郎 |

二十九代

島津久友